

まちの“ギモン”に直撃！

8月30日（土）定例会9月会議で9名の議員が一般質問に登壇

※一般質問…議員が町に対し町政全般の幅広いテーマについて、政策の執行状況や将来の方針などについて質問します。

「農地を宅地に」 佐藤弘議員	PI9
「紙おむつの定額制」 遠藤亮子議員	PI10
「スマート農業」 橋本善一郎議員	PI10
「ごみ処理場」 篠崎聰議員	PI11
「三春方式のまちづくり」 三瓶一壽議員	PI11
「不使用建物」 鈴木利一議員	PI12
「空き家対策」 大内広信議員	PI12
「体育館整備」 小林孝議員	PI13
「高齢者支援」 町長	PI13

※内容をダイジェスト版でお知らせします。各ページ2次元コードから一般質問録画映像をご覧いただけます。

次回の一般質問は12月2日（火）午前10時予定です。

農地を宅地に

さとう ひろし 弘議員

佐藤 今後荒地になると見込まれる農地面積は。

産業課長 農業振興地域整備計画における農地面積2406haに対して、地域計画による推計では254haと見込んでいる。

佐藤 農業者の多くが高齢で、後継者がいないことを踏まえると、総面積の一割程度ではすまないのではないか。

町長 人口減少に歯止めをかけ、減少の速度を緩やかにするために、奨学金返還支援、住宅取得奨励金、空き家改修助成、新婚生活者支援、産前産後・子育て支援、小規模な住宅地の提供、賃貸住宅建設奨励金など様々な施策を行っている。

佐藤 農村部に、新たな町をつくる検討をしてはどうか。

町長 大規模な住宅団地の提供については考えていないが、人口動態を見極めながら、ハード・ソフト両面で若い世代が三春に住みたいと思つてもらえる取り組みを進めていく。

佐藤 農業の多面的機能も考え、就農者を支援しながら前向きに取り組んでいきたい。

町長 人口減少問題に対する町の対策は何か。

荒れた町内の農地

QRコード 質問者の録画映像はこちらから

A 人口動態を見極めながら住宅配置を考える

Q 農村部に新しい町をつくっては